KEIKO MANDERA &BALI絵画展

2026
11/6 Fri – 8 Sun
入場無料 11:00 -18:00

GALLERY SARI

Keiko Mandera & バリ絵画展 2026

私の展覧会は、“出会い” を大切にしてきています。展覧会では私の作品をご覧いただくだけではなく、私がお会いしたい皆様とお会いできる場であり、皆様にはバリ島との出会い、バリ舞踊との出会いの場です。人と人の出会い、さまざまな出会いを広げて行きたく思っています。

私の絵の軸にはバリ舞踊があります。それはただ、踊り手の身体や見た目の美しさだけではなく、神様のために捧げられる舞のもつ深い意味であったり、平和への願いであったりします。そのような想いを皆様に届けたく思って絵を描き続けています。

今年は、私の展覧会に来てくださる皆様に、私の絵だけではなく、バリ島絵画もご紹介させていただくことにしました。バリファンやバリを訪れたことのある方でも、町を歩けばお土産用の絵画をあちらこちらでみることはできますが、案外本格的な美しいバリ絵画を美術館で観る機会がない方も多いように思います。今回、私が 1990 年より収集してきました作品で、今ではバリ島ルダナ美術館にも収蔵されている高名な作家の作品から、無名ではあっても特色ある作家の作品を数点展示いたします。お楽しみにしていただければと思います。

私は、1970 年代から 1980 年代にかけてユネスコ主導で行われたボロブドゥール寺院の修復事業に、名古屋音楽大学の宇治谷学長にお会いしたことから関わることになりました。これは、私にとって思いもかけないことでしたが、私がそれまで愛していたバリが、バリ島に変わっていくことになりました。私が関わったのは 1980 年代の修復完成に向けての式典や、建立当時の美しい姿を取りもどしたボロブドゥール寺院の姿を未来に伝えていくための書籍作りでした。私のバリはバリ島に変わりましたが、実は私がバリに求めていた美しさが、長くバリ島に住む中で、このバリ島にもあったことに気づきました。日々の島の生活の中にある創造性と美しさです。バリ島の神々に捧げられる日々のお供物やそれを供える人々の姿は本当に美しいと感じるのです。

人間は、美しいものを感じとる心があります。美しいものを感じられる心は人間だけが神様から与えられた特権だと思います。美しいものを見たり、触れたりと五感を働かせることで、その素晴らしさや感動を他者と共有してコミュニケーションすることで、その“美しさ＂はより豊かなものになって広がっていきます。

私の展覧会を一つの扉として、美しいものに出会える心の旅に出かけていただければ嬉しく存じます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

KEIKO MANDERA

名古屋に生まれる。名古屋造形芸術短期大学油彩画科卒業後、名古屋音楽大学に勤務時に学長である宇治谷祐顕氏の影響で、ユネスコアジアやアジア文化交流センターの活動に参加、東南アジア各国を歴訪する。仏教遺跡ポロブドゥール修復プロジェクトにてインドネシアを訪問中に、縁あって、バリ島の芸能を世界に広め、1931 年にバリ宮廷舞踊初めてのヨーロッパ公演を成功させたグンカ マンデラ翁と出会い、1988 年には、翁の長男、バリ舞踊家のバグースマンデラと結婚する。以後、芸能一家であるマンデラ家の嫁として、また 3 人の息子の母親として、バリ島の伝統文化芸術を学び、宗教行事に携わるとともに、ティルタサリ歌舞団やグンタブアナサリ歌舞団をサポートしてきた。その一方で、バリ島ウブドのビタマハリゾートのマーケティングマネージャーとしてバリ島観光の PR に務めながら、自ら描く絵により展覧会を開いたり講演会活動を通じて、バリ島の文化や芸術を積極的に日本に紹介して、両国の文化交流や芸術振興に尽力している。2018 年、在デンパサール日本国総領事館総領事より、日本とインドネシアの相互理解と友好親善に寄与した功績により表彰される。2020 年、日本国外務大臣から、日本とインドネシアの芸術文化交流の促進に寄与した功績により表彰されている



連絡先：（会期中）恵子 マンデラ mandera.peliatan@gmail.com
携帯 / 日本滞在期間のみ（日本携帯）090-5136-0210

協　賛：GALLERY SARI
協　力：ガルーダ･インドネシア航空 / Royal Pita Maha / Balerung Stage Peliatan
後　援：小野隆彦・小野美智子　　デザイン：梯 京子

Keiko Mandera

Balerung Stage

＊Tirta Sari 歌舞団
定期公演
毎週金曜日
19:30-21:00

